

# インテル® Media Server Studio 2016 – Professional Edition for Linux\* リリースノート

[はじめに](#)

[新機能](#)

[動作環境](#)

[パッケージの内容](#)

[インストール](#)

[インストール・フォルダー](#)

[既知の制限事項](#)

[著作権と商標について](#)

## はじめに

インテル® Media Server Studio – Professional Edition for Linux\* は、インテルのサーバー向け製品上でエンタープライズ・メディア・ソリューションを開発するのに必要なソフトウェア開発ツールとライブラリーを提供します。次のコンポーネントが含まれます。

- **インテル® Media Server Studio 2016 – グラフィックス・ドライバー**
- **インテル® Media Server Studio 2016 – SDK** (以下、「SDK」): インテル® Iris™ グラフィックスおよびインテル® HD グラフィックスのハードウェア・アクセラレーション機能を利用するように、Linux\* サーバー向けデータセンター/組み込みメディア・アプリケーションを最適化します。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – OpenCL\* Code Builder**: OpenCL\* アプリケーションの作成、ビルド、デバッグ、解析を支援します。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – Metrics Monitor**: さまざまな GPU メトリックを提供します。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – Audio Decoder & Encoder** (以下、「Audio」): オーディオ・コーデック・ソフトウェア処理ライブラリーです。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – HEVC Decoder & Encoder** (以下、「HEVC」): インテル® プラットフォームの HEVC (ISO\*/IEC\* 23008-2 MPEG-H Part 2 または ITU-T\* H.265 規格) デコード/エンコード・アクセラレーション機能を利用するための、ソフトウェア開発ライブラリー (プラグイン) とツールです。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – Premium Telecine Interlace Reverser** (以下、「PTIR」): インテル® プラットフォームのビデオ・デインターレース/逆テレシネ処理関連のメディア・アクセラレーション機能を利用するための開発ライブラリーです。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – Video Quality Caliper**: エンコード済みビデオや非圧縮ビデオの品質を客観的および視覚的に調査するためのグラフィカル・ユーティリティーです。
- **インテル® VTune™ Amplifier XE**: パフォーマンスとスケーラビリティを向上するため、アプリケーションのシリアル領域と並列領域の動作を理解する必要がある開発者向けの強力なスレッド化およびパフォーマンス最適化ツールです。
- **インテル® Media Server Studio 2016 – サンプル**: さまざまな SDK 機能の使用法を示します。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OpenCL および OpenCL ロゴは、Apple Inc. の商標であり、Khronos の使用許諾を受けて使用しています。

© 2016 Intel Corporation.

## 新機能

インテル® Media Server Studio 2016 Professional Edition for Linux\* は、次のコンポーネントで構成されています。

- インテル® Media Server Studio 2016 – グラフィックス・ドライバー 16.4.4.47109
- インテル® Media Server Studio 2016 – SDK 6.0.16043361.361
- インテル® Media Server Studio 2016 – OpenCL\* Code Builder 2015 R6
- インテル® Media Server Studio 2016 – Metrics Monitor 1.1.0
- インテル® Media Server Studio 2016 – サンプル 6.0.16043361.361。最新のサンプル (すべてのバイナリーとソースコードを含む) は、[インテル® Media Server Studio サポート](#)からダウンロードできます。
- インテル® Media Server Studio 2016 – Audio Decoder & Encoder 6.0.1604345.45
- インテル® Media Server Studio 2016 – HEVC Decoder & Encoder 1.0.8
- インテル® Media Server Studio 2016 – Premium Telecine Interlace Reverser 1.2.0
- インテル® Media Server Studio 2016 – Video Quality Caliper 1.8.1
- インテル® VTune™ Amplifier XE 2016 Update 2

各コンポーネントの新機能については、それぞれのリリースノートを参照してください。

- インテル® Media Server Studio 2016 – SDK リリースノート (英語)  
<studio-extract-dir>/<sdk-extract-dir>/  
media\_server\_studio\_sdk\_release\_notes.pdf
- インテル® Media Server Studio 6 – OpenCL\* Code Builder リリースノート (英語)  
<https://software.intel.com/en-us/articles/mss-code-builder-release-notes>
- インテル® Media Server Studio 2016 – Metrics Monitor マニュアル (英語)  
<studio-extract-dir>/<sdk-extract-dir>/metricsmon-man.pdf
- インテル® Media Server Studio 2016 – Audio Decoder & Encoder リリースノート (英語)  
<studio-extract-dir>/<audio-extract-dir>/release\_notes\_audio.pdf
- インテル® Media Server Studio 2016 – HEVC Decoder & Encoder リリースノート (英語)  
<studio-extract-dir>/<hevc-extract-dir>/  
media\_server\_studio\_hevc\_release\_notes.pdf
- インテル® Media Server Studio 2016 – Premium Telecine Interlace Reverser リリースノート (英語)  
<studio-extract-dir>/<ptir-extract-dir>/plugins/  
media\_server\_studio\_ptir\_release\_notes.pdf
- インテル® Media Server Studio 2016 – Video Quality Caliper リリースノート (英語)  
<studio-extract-dir>/<caliper-extract-dir>/  
Video\_Quality\_Caliper\_Release\_Notes.pdf
- インテル® VTune™ Amplifier XE リリースノート (英語)  
<studio-extract-dir>/<vtune-extract-dir>/release\_notes\_amplifier\_linux.pdf

## 動作環境

### ハードウェア

次のプロセッサ・モデルがサポートされます。

- インテル® Xeon® プロセッサ E3 128x v4 製品ファミリー
- インテル® Iris™ Pro グラフィックス、インテル® Iris™ グラフィックス、またはインテル® HD グラフィックス (5500、6000、6100、6200) 搭載の第 5 世代インテル® Core™ プロセッサ
- インテル® Xeon® プロセッサ E3 128x v3 製品ファミリー
- インテル® Iris™ Pro グラフィックス、インテル® Iris™ グラフィックス、またはインテル® HD グラフィックス 4200 以上搭載の第 4 世代インテル® Core™ プロセッサ (通常、チップセットの互換性はインテル® Core™ プロセッサでは問題になりません)

チップセットの制限事項:

- チップセットでプロセッサ・グラフィックスが有効でなければなりません。データシートを確認してください。
- サーバー向けインテル® C226 チップセットのみサポートされます。
- インテルのサーバー向けチップセット・ベースのプラットフォーム/マザーボードでは、インテル® C226 チップセットが必要ですが、**それだけでは十分ではありません**。サポートされるプロセッサ・グラフィックスについて、特定のプラットフォーム/ボードベンダーに確認してください。インテル® Media Server Studio の Web サイトにある「[OEM/ODM のプラットフォーム](#)」も確認してください。

注:

- 第 4 世代よりも古いインテル® Core™ プロセッサはサポートされません。
- インテル® Celeron® プロセッサ、インテル® Pentium® プロセッサ、インテル® Atom™ プロセッサはサポートされません。

**注:** 各コンポーネントには、それぞれの要件があります。各コンポーネントのリリースノートを参照してください。

### ソフトウェア

サポートされる OS とソフトウェア要件については、各コンポーネントのリリースノートを参照してください。

## パッケージの内容

インテル® Media Server Studio 2016 – Professional Edition for Linux\* は、次のコンポーネントで構成されています。

コンポーネント	説明
SDK2016Production16.4.4.tar.gz	インテル® Media Server Studio 2016 – ドライバー、SDK、Metrics Monitor。
intel_code_builder_for_opencl_mss_<ocl-version>.tar.gz	インテル® Media Server Studio 2016 – OpenCL* Code Builder。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OpenCL および OpenCL ロゴは、Apple Inc. の商標であり、Khronos の使用許諾を受けて使用しています。

© 2016 Intel Corporation.

MediaSamples_Linux_bins_<id>.tar.gz	<p>インテル® Media Server Studio 2016 – サンプル。 次のバイナリーが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デコードサンプル</li> <li>• エンコードサンプル</li> <li>• マルチトランスコード・サンプル</li> <li>• VPP サンプル</li> </ul> <p>テスト用ストリーム、README ファイル、完全なサンプルパッケージのダウンロード・リンク。</p>
Audio2016.tar.gz	インテル® Media Server Studio 2016 – Audio Decoder & Encoder。
HEVC2016.tar.gz	インテル® Media Server Studio 2016 – HEVC Decoder & Encoder。
PTIR2016.tar.gz	インテル® Media Server Studio 2016 – Premium Telecine Interlace Reverser。
VideoQualityCaliper2016.tar.gz	インテル® Media Server Studio 2016 – Video Quality Caliper。
vtune_amplifier_xe_2016_update2.tar.gz	インテル® VTune™ Amplifier XE。
media_server_studio_professional_release_notes.pdf Intel(R) Media Server Studio EULA.pdf redist.txt site_license_materials.txt third_party_programs.txt	インテル® Media Server Studio 2016 のドキュメント: このリリースノート、EULA とその関連ファイル、入門ガイド。

## インストール

インテル® Media Server Studio 2016 – Professional Edition for Linux\* をインストールするには、完全な管理者権限が必要です。

MediaServerStudioProfessional2016.tar.gz をターゲット・ハードドライブに展開します。

**インテル® Media Server Studio 2016 – ドライバー & SDK** のインストール手順は、入門ガイド (<studio-extract-dir>/<sdk-extract-dir>/media\_server\_studio\_getting\_started\_guide.pdf) を参照してください。

**インテル® Media Server Studio 2016 – Metrics Monitor** は、インテル® Media Server Studio 2016 – ドライバー & SDK とともにインストールされます。

**インテル® Media Server Studio 2016 – サンプル** をインストールするには、対応する tar.gz ファイルをターゲット・ハードドライブに展開します。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OpenCL および OpenCL ロゴは、Apple Inc. の商標であり、Khronos の使用許諾を受けて使用しています。

© 2016 Intel Corporation.

**OpenCL\* Code Builder** をインストールするには、対応する `tgz` ファイルを展開し、`install.sh` を実行します。インストーラーの指示に従ってインストールを行ってください。

汎用 OS 用のパッケージを使用してインテル® Media Server Studio 2016 – ドライバー & SDK をインストールした場合、OpenCL\* Code Builder のインストーラーが次の "Missing Critical Prerequisite(s) (重要な必須コンポーネントが見つかりません)" メッセージを出力することがあります。

```
The following libraries required for installation are missing:
```

- libOpenCL.so.1()(64bit)
- libOpenCL.so.1(OPENCL\_1.0)(64bit)
- libOpenCL.so.1(OPENCL\_1.2)(64bit)

```
To install libOpenCL* libraries, please install OpenCL™ runtime for Intel® CPU device package.
```

(インストールに必要な次のライブラリーが見つかりません。)

- libOpenCL.so.1()(64 ビット)
- libOpenCL.so.1(OPENCL\_1.0)(64 ビット)
- libOpenCL.so.1(OPENCL\_1.2)(64 ビット)

libOpenCL\* ライブラリーをインストールするには、インテル CPU デバイスパッケージ用の OpenCL\* ランタイムをインストールしてください。)

最初に、必要なライブラリーがすべてシステムにインストールされていることを確認してください。

```
$ find / -name libOpenCL.so.1*
/usr/lib64/libOpenCL.so.1
/usr/lib64/libOpenCL.so.1.2
```

その後、<OCL-Code-Builder-extract-dir> フォルダーで次のコマンドを実行します。

```
$ rpm -ivh --nodeps rpm/*.rpm
```

**インテル® Media Server Studio 2016 – Audio Decoder & Encoder** をインストールするには、対応する `tar.gz` ファイルをターゲット・ハードドライブに展開します (推奨する場所: <sdk-install-dir>)。SDK パッケージによってインストールされた `mfxaudio.h` ファイル (<sdk-install-dir>/include) を、このパッケージで提供される `mfxaudio.h` に必ず置き換えてください。

**インテル® Media Server Studio 2016 – HEVC Decoder & Encoder** をインストールするには、対応する `tar.gz` ファイルを展開し、`install.sh` を実行します。インストーラーの指示に従ってインストールを行ってください。HEVC をインストールする前に、SDK がインストール済みであることを確認します。HEVC インストーラーは、<sdk-install-dir>/plugins/plugins.cfg のバックアップ・コピー (`plugins.cfg.bak`) を作成します (該当する場合)。HEVC をインストール後、バックアップされた内容を <sdk-install-dir>/plugins/plugins.cfg にコピーする必要があります。

**インテル® Media Server Studio 2016 – Premium Telecine Interlace Reverser** をインストールするには、対応する `tar.gz` ファイルをターゲット・ハードドライブの SDK がインストールされている場所に展開します。PTIR をインストールする前に、SDK がインストール済みであることを確認します。PTIR をインストールする前に、<sdk-install-dir>/plugins/plugins.cfg のバックアップ・コピーを作成します (該当する場合)。PTIR をインストール後、バックアップした内容を <sdk-install-dir>/plugins/plugins.cfg にコピーする必要があります。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OpenCL および OpenCL ロゴは、Apple Inc. の商標であり、Khronos の使用許諾を受けて使用しています。

© 2016 Intel Corporation.

インテル® Media Server Studio 2016 – Video Quality Caliper (以下、「VQC」) をインストールするには、対応する tar.gz ファイルをターゲット・ハードドライブに展開します (推奨する場所: /opt/intel)。

インストール後、インテル® Media Server Studio 2016 – Video Quality Caliper を有効にするには、次の操作を行います。

- インテル® Media Server Studio のライセンスファイルがある場合は、次に示すデフォルトのディレクトリーに配置します。

root の場合: /opt/intel/licenses

現在のユーザーの場合: ~/intel/licenses

- インテル® Media Server Studio のライセンスファイルがない場合は、次の操作を行います。
  1. ログイン ID とパスワードを入力して、[インテル® ソフトウェア開発製品レジストレーション・センター](#)にログインします。利用可能なすべての製品のリストが表示されます。
  2. 製品ごとに、製品名、コンポーネント名 (該当する場合)、ダウンロード可能な最新バージョンのリンク、最新のアップデートの公開日が表示されます。
  3. **インテル® Media Server Studio – Professional Edition** をクリックすると、サブスクリプション履歴ページが表示され、最新バージョンをダウンロードすることができます。
  4. このページには、シリアル番号、サポートステータス、ライセンスの管理ページへのリンク、サブスクリプション更新ページへのリンクが表示されます。
  5. ライセンスファイルをダウンロードしたり、メールアカウントに再送信する場合は、[管理者] 列の [管理] リンクをクリックして、ライセンスの管理ページに移動します。[ライセンスファイル] には、ダウンロード・アイコン (ライセンスファイルのダウンロード) とメールアイコン (登録アドレスへのライセンスファイルの再送信) があります。メールアイコンをクリックすると、ライセンスファイルが添付されたメールが登録アドレスに送信されます。[注: バージョン 2016 をインストールしている場合は、製品ごとに複数のライセンスファイルが表示されることがあります。]

ライセンスについては、[ライセンスの FAQ](#) (英語) を参照してください。

インテル® VTune™ Amplifier XE をインストールするには、対応する tgz ファイルを展開し、install.sh を実行します。詳細は、インテル® VTune™ Amplifier XE リリースノート参照してください。

## インストール・フォルダー

インテル® Media Server Studio 2016 – Professional Edition for Linux\* のコンポーネントは、デフォルトで次の場所にインストールされます。

コンポーネント	説明
/opt/intel/mediasdk	インテル® Media Server Studio 2016 – SDK、Audio Decoder & Encoder、HEVC Decoder & Encoder、Premium Telecine Interlace Reverser、Metrics Monitor のデフォルトの場所。
/opt/intel/ocl-1.2-sdk-<ocl-version>	インテル® Media Server Studio 2016 – OpenCL* Code Builder のデフォルトの場所。
/opt/intel/vtune_amplifier_xe_2016	インテル® VTune™ Amplifier XE のデフォルトの場所。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OpenCL および OpenCL ロゴは、Apple Inc. の商標であり、Khronos の使用許諾を受けて使用しています。

© 2016 Intel Corporation.

インテル® Media Server Studio 2016 – ドライバーの場所はさまざまです。詳細は、対応する SDK リリースノートを参照してください。

## 既知の制限事項

各コンポーネントの既知の制限事項については、それぞれのリリースノートを参照してください。

## 著作権と商標について

本資料には、開発の設計段階にある製品についての情報が含まれています。

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責任を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商品適格性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権の非侵害性への保証を含む) に関してもいかなる責任も負いません。

インテルによる書面での合意がない限り、インテル製品は、その欠陥や故障によって人身事故が発生するようなアプリケーションでの使用を想定した設計は行われていません。

インテル製品は、予告なく仕様や説明が変更される場合があります。機能または命令の一覧で「留保」または「未定義」と記されているものがありますが、その「機能が存在しない」あるいは「性質が留保付である」という状態を設計の前提にしないでください。これらの項目は、インテルが将来のために留保しているものです。インテルが将来これらの項目を定義したことにより、衝突が生じたり互換性が失われたりしても、インテルは一切責任を負いません。この情報は予告なく変更されることがあります。この情報だけに基づいて設計を最終的なものとししないでください。

本資料で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

最新の仕様をご希望の場合や製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本資料で紹介されている資料番号付きのドキュメントや、インテルのその他の資料を入手するには、1-800-548-4725 (アメリカ合衆国) までご連絡いただくか、[インテルの Web サイト](#) (英語) を参照してください。

MPEG は、ビデオの圧縮/伸張に関する国際的な規格であり、ISO によって奨励されています。MPEG コーデックまたは MPEG 対応のプラットフォームを実装するには、Intel Corporation をはじめとする各種の団体からライセンスを取得しなければならない場合があります。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Celeron、Intel Atom、Intel Core、Iris、Pentium、VTune、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

OpenCL および OpenCL ロゴは、Apple Inc. の商標であり、Khronos の使用許諾を受けて使用しています。

© 2016 Intel Corporation.

## 最適化に関する注意事項

インテル® コンパイラーでは、インテル® マイクロプロセッサに限定されない最適化に関して、他社製マイクロプロセッサ用に同等の最適化を行えないことがあります。これには、インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 2、インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 3、インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 3 補足命令などの最適化が該当します。インテルは、他社製マイクロプロセッサに関して、いかなる最適化の利用、機能、または効果も保証いたしません。

本製品のマイクロプロセッサ依存の最適化は、インテル® マイクロプロセッサでの使用を前提としています。インテル® マイクロアーキテクチャーに限定されない最適化のなかにも、インテル® マイクロプロセッサ用のものがあります。この注意事項で言及した命令セットの詳細については、該当する製品のユーザー・リファレンス・ガイドを参照してください。

注意事項の改訂 #20110804